

令和7年7月18日
北海道開発局

エコドライブで脱炭素！

共創の取組にご協力いただけるアプリ事業者を募集します。

北海道開発局では、第9期北海道総合開発計画の主要施策「地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現」を進めるため、「ゼロカーボンシティ宣言」をしている南富良野町、南富良野まちづくり観光協会との共創によるエコドライブ※の普及啓発に取り組んでいます。

この官民共創の取組に、エコドライブを支援するスマートフォン用アプリケーションをご提供いただけるアプリ事業者を募集します。

○ 官民共創で以下の取組を実施します。

- ・道の駅「南ふらの」のイベント等において、来場者等エコドライブを支援するスマートフォン用アプリケーション（以下「支援アプリ」という。）のインストールを促し、CO2排出量の削減効果を「見える化」することでエコドライブへの意識の醸成。
- ・支援アプリ利用者へのアンケートや、支援アプリに搭載されたGPS・加速度センサー等のデータから、脱炭素への意識変化のほか、関係人口及び消費行動創出効果、急制動多発箇所の可視化などの分析を実施。

※北海道は一人当たりのCO2排出量が全国平均より高く、全国に比べて運輸部門、とりわけ自動車から排出される二酸化炭素の割合が高いと推計されています。「加・減速の少ない運転」などのエコドライブはCO2排出量の削減に繋がるほか、交通安全にも繋がる効果的な取組（エコ&セーフティ）です。

1. 公募期間

令和7年7月18日（金）～令和7年8月1日（金）

2. 支援アプリの要件等

別添募集要領（資料1）でご確認ください。

3. 今後のスケジュール（予定）

令和7年8月1日（金）	応募締切
令和7年8月中	支援アプリの決定
令和7年8月以降	事業の実施（イベント時のアプリ導入斡旋・検証の実施）
令和8年3月下旬	支援アプリデータ使用終了

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 仁平 陽一郎（内線 5838）

課長補佐 長谷川 美奈（内線 5432）

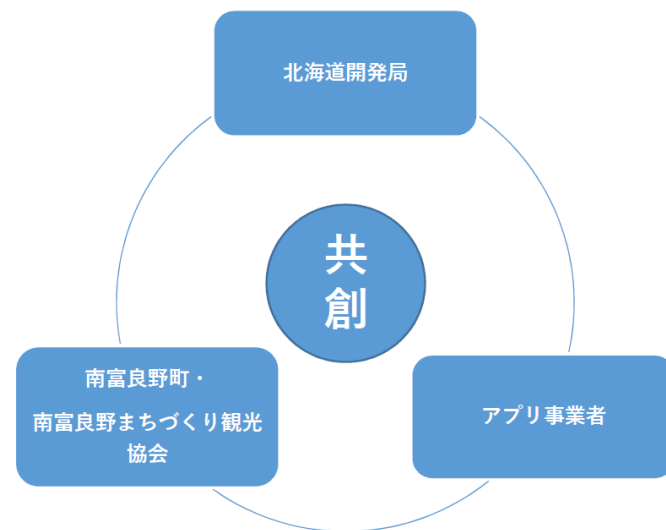
北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



エコドライブに関する共創の取組①

取組概要

- 北海道開発局では、第9期北海道総合開発計画の主要施策「地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現」を進めるため、「ゼロカーボンシティ宣言」をしている南富良野町、南富良野まちづくり観光協会との共創によるエコドライブの普及啓発に取り組んでいます。
- 具体的には、道の駅「南ふらの」のイベント等において、来場者等にエコドライブを支援するアプリケーション（支援アプリ）のインストールを促し、CO2排出量の削減効果を「見える化」することでエコドライブへの意識の醸成を行います。
- また、支援アプリ利用者へのアンケートや、支援アプリに搭載されたGPS・加速度センサー等のデータから、脱炭素への意識変化のほか、関係人口及び消費行動創出効果、急制動多発箇所の可視化などの分析を実施します。



- ・エコ（&セーフティー）ドライブへの意識調査
- ・CO2削減効果の検証
- ・事故リスクが高い地点の抽出や分析

← エコ（&セーフティー）ドライブで

「道の駅」の特典を得る →

- ・再訪による交流人口の増加や地域の活性化
- ・町内の交通事故対策
- ・ゼロカーボン北海道への取組の浸透



エコドライブに関する共創の取組②

取組の役割分担とそれぞれの成果

官民の垣根を越えた共創

北海道開発局

- 取組に関する総括、関係者間の調整
- 取組の企画、運営、広報
- アンケート設計、集計、蓄積ドライブデータ、アンケート結果の分析
- 取組結果とりまとめ

- 脱炭素化へ向けた行動変容を促すことによるゼロカーボン北海道への貢献
- 「道の駅」を活用した地域振興策の実証、今後の展開への問題把握
- 急制動データの交通安全対策への利用可能性検討

アプリ事業者

- イベント参加者への支援アプリの無償提供
- 実証実験中のアプリの配信環境・利用環境の整備
- 提供に同意した利用者の運転行動により得られたデータの提供
- 支援アプリ及びデータの使用及び分析等に関する北海道開発局への助言

- アプリ知名度及びインストールユーザーの増加
- 共創への参加によるブランド力の向上

南富良野町・ 南富良野まち づくり観光協 会

- 毎月のイベントの企画、運営
- イベントブースの提供
- 取組に関する広報
- 取組集客のための優待等

- イベント開催発信力の増加
- イベント集客、地域再訪者数の向上
- アンケート結果、アプリ蓄積データ等の分析・検証結果のフィードバック

エコドライブに関する検討事業における 協力事業者募集要領

1. 公募の目的

北海道は一人当たりのCO2排出量が全国平均の約1.2倍*（令和4年度）あり、冬期間が長い積雪寒冷地であることに加え、広域分散型であるという地理的特徴からも、全国に比べて運輸部門から排出される二酸化炭素の割合が高く、このうちの約8割が自動車からの排出と推計されています。*北海道「令和5年度(2023年度)ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組に関する年次報告」より

「加・減速の少ない運転」などのエコドライブは、燃費良く走ってCO2排出を減らすだけではなく、ゆとりのある運転から交通安全、ひいては交通事故の低減も期待されることから、スマートフォンに搭載されたGPSや加速度センサを用いて安全運転を診断、支援する『アプリ』（以下「支援アプリ」という。）を利用することにより、支援アプリ利用者の脱炭素への意識変化のほか、蓄積された走行データの検証による危険箇所の把握やCO2削減効果の検討などを行いたく募集するものです。

2. 概要

2-1. 事業の概要

支援アプリを地方公共団体の行うイベントにおいて、一般の運転者の行動変容を促すためにスマートフォンへの導入促進を行います。アプリより得られたドライブデータを活用して、交通安全や省エネルギーに関する検討・分析を行うとともに支援アプリ利用者への脱炭素への意識変化などを確認します。

また、イベント情報を始め、近隣観光地、周遊ドライブルート等についての情報発信を行うことによって交流人口の増加や地域振興への活用の可能性について検討を行う。

※上記の検討は、北海道開発局にて別途契約する民間事業者と連携して行うこととし、本公募で採用したアプリの利用及び蓄積したドライブデータの提供に対して、北海道開発局から費用等を交付するものではありません。（アプリ利用者想定：500名程度）

2-2. アプリ事業者の実施内容

公募により、検討事業に利用するアプリに選定された事業者には、以下の項目についてご協力をお願いします。

- ① 検討事業参加者への支援アプリの無償での提供
- ② 実証実験中のアプリの配信環境・利用環境の整備
- ③ 提供に同意した使用者の運転行動により得られた走行データの提供
- ④ その他、支援アプリ及びデータの使用及び分析等に関する打ち合わせ

※北海道開発局は、本公募にて選定するアプリを活用した検討事業を民間事業者に委託します。民間事業者は、検討事業の計画補助、関係者や公募により選定されたアプリ事業者との調整、参加イベントにかかる補助、検討資料や報告書の作成等を行うこととしています。

2-3. 検討場所および時期

検討事業の実施場所は上川管内南富良野町を予定しています。

検討・分析に使用するデータは令和7年9月～11月までの約3ヶ月間を想定しています。具体的な日程に関しては、公募により決定した支援アプリを提供する事業者及び関係者と別途協議の上、決定することとします。

2-4. 検討事業の成果及び得られたデータ等の取扱

検討事業の成果については、以下に示す通り取り扱います。

- ① 検討事業の取組概要や成果について、北海道開発局が発注する各種調査報告書の作成等に利用することを予定しています。また、取組事業の概要については、北海道開発局のホームページにも掲載する予定としています。
- ② 取組事業の概要及び事業報告書については、協力地方自治体へ提供を予定しています。

- ③ 取組事業において支援アプリにおいて収集した情報は、アプリ利用者が同意した場合、提供する事業者が管理・利用することとします。なお、安全運転やエコドライブの検証や分析のため、走行軌跡や速度、危険な急制動を行った地点、CO2や消費燃料の低減量などの「（個人情報保護法における個人情報を除く）提供可能な」データについて、北海道開発局及び検証を委託する民間事業者へ無償で共有いただく予定としています。

3. 応募方法

3-1. 応募条件

応募に当たっての基本条件は以下のとおりとします。

- ① 応募者は自らがアプリに必要な権利を有する「個人」又は「法人」であること。
- ② 応募アプリの判定過程において、機密保持契約を締結の上、提供可能な製品情報や技術構成などを当方へ開示できること。
- ③ アプリの一般利用をはじめ、当方で行う利用データの分析や検証等を含め、関係法令への適合及び著作権等の権利について問題が生じないこと。
- ④ アプリの製品情報や当方が行う検証結果などは公表を予定しており、これに対して問題が生じないこと。
- ⑤ 予算決算及び会計令第70条（一般競争に参加させることができない者）、第71条（一般競争に参加させないことができる者）の規定に該当しない者であること。並びに警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- ⑥ エコドライブ（脱炭素）やセーフティドライブ（交通安全）等に関するプロジェクトやイベントで国の機関や地方公共団体等との連携・協力の実績があること。

3-2. 支援アプリの要件

支援アプリの要件は以下のとおりとします。

- ① 利用者の導入への負担を考慮し、支援アプリは単独で本要件の機能を満たすものであること。
- ② 自動車での安全運転（急制動の判定など）の診断、表示機能を有しており、一般利用者が無償で使用するのことができるアプリ。
- ③ 運転挙動（急制動など）に関するデータを蓄積しており、それを分析することによって、危険箇所の抽出やエコドライブによるCO2や消費燃料の低減量の算定を行うことができること。
- ④ 一般利用者がアプリを無償で利用できる環境（アプリをダウンロードする環境等）が整備できること。
- ⑤ 装備されていることが望ましい機能として、
 - ・利用者を検討場所へ呼び込むため「イベント情報を始め、近隣観光地、周遊ドライブルートなどの情報を発信する機能」
 - ・優良なエコドライブ利用者のさらなる行動変容の促進のため、ランキングなどによる成果の可視化や観光施設の割引クーポン提供などの「インセンティブ（金銭、非金銭問わず）の付与機能」などを想定。
- ⑥ 検討・分析に要する打ち合わせや利用者の同意を得たデータの提供に協力できること。

3-3. 応募書類の提出

1) 提出締切

令和7年8月1日（金）まで

2) 提出書類

- ① 応募申請書 1部 ※押印は不要です。
- ② 紹介資料（様式自由）※アプリのコンセプトやアピールポイント、操作方法などを記載願います。

3) 提出方法

上記の提出書類を、下記の①～③のいずれかの方法により提出して下さい。

① 直接提出

応募書類を後述「6) 問合せ及び提出先」までお持ち下さい。

② 郵送による提出

応募書類を後述「6) 問合せ及び提出先」まで郵送（宅配便、バイク便等を含む）により提出してください。封筒には、「エコ&セーフティドライブに関する検討事業応募書類在中」と赤字で明記してください。

※郵送等の過程において、何らかの事情により応募書類が未着となった場合の責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。郵送等の場合は、簡易書留扱いにする等、発送と到着の確認ができる方法での送付を推奨します。

③ メールによる提出

後述「6) 問合せ及び提出先」のメールアドレスまで応募書類を添付の上、お送り下さい。送付後は受信確認のため、電話にてご連絡をお願い致します。

4) 選定結果の通知

選定は、本項3)の提出書類及び必要に応じて行うヒアリングをもって行うものとし、選考上位となる1アプリを選定します。

公募の結果は、応募者あてに連絡するとともに選定された者は開発局のホームページにて公表します。

通知を受けた受注者は、通知日から7日（土曜日、日曜日及び祝日を含む。）以内に、通知をした者に対して選考理由についての説明を書面により求めることができます。その場合には、書面により回答させていただきます。

5) その他

提出された応募書類は返却しませんので、必ず写し等を控えて頂くようお願いいたします。

また、応募申込及び選定の過程における応募書類・追加資料の作成・提出等に要する費用は、応募者の負担とします。

申請内容の確認にあたり、必要に応じて詳細のヒアリングを行う場合があります。ヒアリングはWeb会議等により実施するものとしたしますが、実施する場合には改めてご連絡することとします。

応募者から提出された資料等に含まれる個人情報、技術情報等については、北海道開発局において適切な方法にて管理し、本取組の目的にのみ利用するものとし、法令に基づく場合を除き、本人の了解なしに第三者には一切提供しないものとします。

6) 問合せ及び提出先：

国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課（ゼロカーボン北海道担当）

〒060-8511

北海道札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎 14階

電話：011-709-2024（直通）

Mail：kadoya-m22ab@mlit.go.jp

エコドライブに関する検討事業

応募申請書

令和 年 月 日

国土交通省 北海道開発局
開発監理部 開発連携推進課長 殿

(フリガナ)
団 体 名
代 表 者
役 職
(フリガナ)
氏 名
所 在 地
電 話

「エコドライブに関する検討事業における協力事業者 募集要領」に基づき、応募申請書を提出します。

連絡窓口	〔住所〕 〒 〔連絡担当者〕 所属・役職 (フリガナ) 氏 名 〔電話番号〕 〔メールアドレス〕
------	--

(1) アプリ情報	
アプリの名称	
対応OS	
当初リリース月日 (最新アップデート月日)	
ダウンロード数	
応募者におけるエコドライブ(脱炭素)やセーフティドライブ(交通安全)等に関するプロジェクトやイベントにおける、国の機関や地方公共団体等との連携・協力の実績	
(2) 支援アプリ要件の適用について	
① 自動車での安全運転(急制動の判定など)の診断、表示機能を有している	※該当機能について簡潔に記載。別添「紹介資料(様式自由)」の該当ページの記載でも可。
② 運転挙動(急制動など)に関するデータを蓄積し、その分析により危険箇所の抽出やエコドライブによるCO2や燃費の低減量の算定を行うことができる	※危険箇所の抽出やCO2削減量の算出等を行うため、北海道開発局へ提供可能なデータを記載。別添「紹介資料(様式自由)」の該当ページの記載でも可。
③ 一般利用者がアプリを無償で利用できる環境(アプリをダウンロードする環境等)が整備できる	※一般利用者が公式プラットフォーム等でアプリをダウンロードする方法を記載。別添「紹介資料(様式自由)」の該当ページの記載でも可。
④ 検討事業に有益と考えるアプリの実装機能(該当がある場合)	※「装備されていれば望ましい機能」として記載のある機能装備のほか、検討事業に有益と考える実装機能及びその特徴を記載。別添「紹介資料(様式自由)」の該当ページの記載でも可。
(3) 無償で提供が可能なアプリ走行データ	
交通安全や省エネルギーの検討・分析において提供可能なデータの例	※運転挙動(急制動の位置など)やCO2削減効果の分析に資するデータ名称やその形態などの例を記載。別添「紹介資料(様式自由)」の該当ページの記載でも可。